Photo ExpressViewer[®] ソフトウェアマニュアル



© 2021-2022, Ichikawa Soft Laboratory Co.,Ltd. All rights reserved.



目次

1.	ソフトウ	フェア起動	1
1.1.	ソフト	、ウェアのインストールと起動	1
1.2.	試用	きプロダクト・キーの登録	1
1.	2.1.	試用の開始	1
1.	2.2.	プロダクト・キーの登録	2
1.	2.3.	プロダクト・キー登録の解除	3
1.	2.4.	プロダクト・キーの登録に関する問い合わせ	3
2.	操作の)流れと画面構成	5
2.1.	操作	™の流れ	5
2.2.	画面	i各部の名称と基本機能	6
2.3.	X=:	ューバー	6
2.	3.1.	ファイル	6
2.	3.2.	編集	7
2.	3.3.	表示	7
2.	3.4.	画像	8
2.	3.5.	オプション	8
2.	3.6.	ヘルプ	9
2.4.	ツーノ		9
3.	画像を	開<1	1
3.1.	ファイ	′ルを開く1	1
3.2.	フォノ	レダを開く1	1
3.3.	メディ	(アから取り込む1	1
3.	3.1.	基本設定1	2
3.	3.2.	振り分け1	3
3.	3.3.	リネーム	3
4.	画像を	表示する1	4
4.1.	サム	ネイル表示1	4
4.2.	コンセ	ビネーション表示1	4
4.3.	プレ	ビュー表示1	5
4.4.	マル	チプレビュー1	5
4.5.	全画	面表示1	5
4.6.	画像	*情報の表示1	6
4.7.	同名	ファイルの表示について1	6
4.8.	プレ	ビュー表示がおこなえない RAW データについて1	7
5.	コマを	分類する1	8
5.1.	マー	ク・レーティングを設定する1	8
5.	1.1.	予約・マークの一括設定1	8
5.2.	コマな	を絞り込む1	9
5.	2.1.	検索2	0
5.	2.2.	フィルタ	0

6.	コマを並び替える	2
6.1.	画像情報での並び替え2	2
6.2.	ドラッグでの並び替え2	3
7.	画像を整理する24	4
7.1.	コピー・移動・削除24	4
7.2.	リネーム	4
7.	2.1. 選択コマの一括リネーム	5
7.3.	コピー・移動・削除・リネーム対象となるファイル2	6
7.4.	画像情報の書き出し2	7
7.	4.1. XMP 形式	7
7.	.4.2. SILKYPIX 現像パラメータファイル形式	8
7.5.	他のアプリケーションで開く2	8
8.	その他便利な機能	1
8.1.	IPTC 情報テイスト	1
8.2.	コントロール配置の登録・復元	2
8.3.	画面の配置を初期状態に戻す3	2
8.4.	コントロールをたたむ・広げる3	2
9.	設定	3
9.1.	表示設定	3
9.2.	機能設定	5
9.3.	キー設定	6
9.4.	画像情報の書き出し設定	7
9.5.	ツールバーのカスタマイズ	7
9.6.	スキンの選択3	8
10.	ユーザーサポートについて	9
10.1	1. 製品についてのお問い合わせ	9
10	0.1.1. お問い合わせ方法	9
10	0.1.2. シリアル番号の確認方法	0
11.	使用許諾契約書	1

- 製品の仕様、マニュアルの記載事項は予告なしに変更する場合があります。予めご了承ください。
- 本マニュアルに記載されている仕様、画面は異なる場合があります。
- 本マニュアルは著作権上の保護を受けています。本マニュアルの一部或いは全部について、株式会社市川ソフトラボラトリーから文書による許諾を受けずに、無断で 複製・複写・転載・引用することは禁じられています。
- 本マニュアルに記載されているメーカー名、カメラ名、ソフトウェア名は、各社の商標、もしくは登録商標です。
- SILKYPIX[®]は、株式会社市川ソフトラボラトリーの登録商標です。
- Microsoft 株式会社が著作権を所有する再配布モジュールが含まれています。

1. ソフトウェア起動

1.1. ソフトウェアのインストールと起動

セットアッププログラムを実行すると、本ソフトウェアのインストールが 開始されます。 インストールが完了すると、デスクトップに "Photo ExpressViewer"のアイコンが作成されます。

デスクトップに作成された上記アイコンをダブルク リックして起動します。

インストールおよび Photo ExpressViewer の初回起動時にはご使用の PC に管理 情報を記録するために管理者として処理をおこないます。続行するにはあなたの許可が 必要となります。「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されますので、以下のい ずれかで処理を続行してください。

あなたのアカウントが標準ユーザーの場合(管理者ではない場合)、管理者アカウント のパスワードを入力して[はい]ボタンをクリックしてください。

あなたのアカウントが管理者の場合は[はい]をクリックしてください。 初回起動時の処理は管理者としておこないますが、これらの処理が完了すると Photo ExpressViewerは標準ユーザーとして動作します。

1.2. 試用とプロダクト・キーの登録

1.2.1. 試用の開始

本ソフトウェアは、購入前に機能をお試しいただくために、一定期間の試用をおこなうことが可能です。 ソフトウェアを起動すると、「プロダクト・キーの登録」ダイアログが表示されますので、[試用開始]ボタンをクリックしてください。 あらかじめ定められた期間が経過すると本ソフトウェアは使用できなくなりますので、それまでの間に是非ご購入いただきますようお願い申し 上げます。

インストールおよび Photo ExpressViewer の初回起動時にはご使用の PC に管理情報を記録するために管理者として処理をおこな います。続行するにはあなたの許可が必要となります。「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されますので、以下のいずれかで処理

1



Photo ExpressViewer - InstallShield Wiz	tard	×
Ľ	Photo ExpressViewer の InstallShield Wizard へようこそ	
	InstallShield Wizard は、Photo ExpressViewer をソビューターに インストールします。統行するには、D女へJ をグリックしてください。	
	< 戻る(B) 次へ (N)> キャンセル	

ユーザー アカウント制御 ×		
このアプリがデバイスに変更 か?	を加えることを許可します	
 Photo ExpressView 確認済みの発行元: Ichikawa Soft I ファイルの入手先: このコンピューター上 詳細を表示 続行するには、管理者のユーザー名と isl パスワード 	er Laboratory Co.,Ltd. のハード ドライブ パスワードを入力してください。	
はい	LILIŽ	
1010		
ューザー アカウント制御 このアプリがデバイスに変更 か?	× を加えることを許可します	
 Photo ExpressView 確認済みの発行元: Ichikawa Soft ファイルの入手先: このコンピューター上 詳細を表示 	er Laboratory CoLtd. のハード ドライブ	



を続行してください。

あなたのアカウントが標準ユーザーの場合(管理者ではない場合)、管理者アカウントのパスワードを入力して[はい]ボタンをクリッ クしてください。

あなたのアカウントが管理者の場合は[はい]をクリックしてください。 初回起動時の処理は管理者としておこないますが、これらの処理 が完了すると Photo ExpressViewerは標準ユーザーとして動作 します。

プロダクト・キーの登録 (Photo ExpressViewer)			
Photo ExpressViewerをご利用いただきありがとうございます。			
【休験版として計用する場合】			
[試用開始]ボタンをクリックしてください。30日間全ての機能がお試しいただけます。			
【製品版として利用する場合】 製品の「シリアル番号」と「ブロダクト・キー」を下記欄へ半角英数字で入力して、[登録 する]ボタンをクリックしてください。	:		
* 「ブロダクト・キー」は、製品ライゼンスにより文字数が異なります。 このため、空白の枠が余ることがあります。			
シリアル番号 -			
プロダクト・キー			
407±7			
#\$]95			
試用開始 登録する			

1.2.2. プロダクト・キーの登録

Photo ExpressViewerのライセンスを登録していただくことで、永続的に本ソフトウェアをご使用いただけるようになります。

プロダクト・キーの登録にはインターネット経由でサーバーに接続が必要です。インターネット経由でサーバーに接続することで自動的にプロ ダクト・キーの登録がおこなえます。

ひとつのプロダクト・キーで登録できる PC の台数はプロダクト・キーの種類によって異なります。また、何らかの障害で再登録が必要な場合は、同一の PC であればそのまま再登録をおこなうことができます。

ご使用になる PC にプロダクト・キーの登録をおこなった後で、PC の買い替えなどにより本ソフトウェアをご使用になる PC の変更をおこない たい場合、登録された PC から「プロダクト・キー登録の解除」をおこなっていただくことによって、他の PC にライセンスを移行することができま す。

ひとつのプロダクト・キーで登録できる PC の台数は 2 台となります。3 台以上の PC でご利用になる場合は、別途ライセンスをお求めくだ さい。

「プロダクト・キーの登録」ダイアログでシリアル番号とプロダクト・キーを入力していただき、[登録する]ボタンをクリックしてください。

入力いただいたシリアル番号とプロダクト・キーは、登録処理(レジストレーション)をおこなうために弊社サーバーへ問い合わせをおこない ます。この時通信がおこなわれますので、必ずインターネットへ接続されている状態でおこなってください。通信ができなかった、または失敗し た場合、正規なレジストレーションがおこなわれず、製品として動作しません。

(なお、誠に恐れ入りますが、インターネットの接続料金や回線料金などの費用はお客様のご負担となります。予めご了承ください。) 登録が完了すると製品として動作し、起動毎のプロダクト・キー入力ダイアログは表示されなくなります。

※インターネットでの接続は登録時のレジストレーションにのみ必要であり、登録後には接続の必要はありません。

【オンライン登録でエラーが発生する場合】

インターネット接続している環境にもかかわらず、オンライン登録がうまくいかない場合がございます。原因の多くはセキュリティソフトの設定、 もしくはプロキシなどのネットワーク環境の設定によるものです。

セキュリティソフトの設定やネットワーク環境の設定につきましては弊社ではサポートできない場合がございます。これらの設定の変更につき ましてはお客様の判断にておこなってください。

【再登録が必要な場合】

プロダクト・キーの登録をおこなっていただいた PC にトラブルが生じて、OS の再インストールなどをおこなったためにプロダクト・キーの登録情 報が失われてしまった場合、再度プロダクト・キーの登録が必要となります。 同じ PC で再登録をおこなう場合は、新規に登録する場合と同じ手順で再登録をおこなってください。再登録にはシリアル番号とプロダク ト・キーが必要です。原則として、ライセンスの再発行はおこなっておりませんので、紛失しないよう、管理には十分ご注意ください。

【他の PC に乗り換えたい場合】

「プロダクト・キー登録の解除」をおこなうことで自動的に他の PC に移行することができます。

1.2.3. プロダクト・キー登録の解除

PC の買い替えなどに伴って、本ソフトウェアを使用される PC の変更を自動的におこなっていただくための手法です。他の PC へのライセン スの移行はインターネット経由で自動的におこなうことができます。

プロダクト・キーの登録がおこなわれた PC で、「プロダクト・キー登録の解除」をおこなっていただき、次に移行したいもう1台の PC で「プロ ダクト・キーの登録」をおこなっていただくことになります。

この場合の注意点として、一度「プロダクト・キー登録の解除」をおこなった PC に対して、同じプロダクト・キーを再登録することはできなくなります。 2 台の PC を交互に使用するような使用方法はできませんのでくれぐれもご注意ください。

【プロダクト・キー登録の解除の手順】

① 登録の解除をおこなう PC で、本ソフトウェアを起動してください。

② 「ヘルプ」メニューの「プロダクト・キー登録の解除」を選択してください。

「プロダクト・キー登録の解除」のメニュー項目が無効となっている場合、お客様の PC で「プロダクト・キー登録の解除」をおこなうこと はできません。

「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されて、処理を続行するかどうか問われます。以下のいずれかの方法で処理を続行してください。

あなたのアカウントが標準ユーザーの場合(管理者ではない場合)、管理者アカウントのパスワードを入力して[はい]ボタンをクリック してください。

あなたのアカウントが管理者の場合は[はい]をクリックしてください。この処理には「管理者権限」が必要です。

- ③ 「プロダクト・キー登録の解除」ダイアログが表示されますので、「OK」ボタンを押してください。弊社サーバーと交信し、サーバーに記録 されているプロダクト・キーの登録状況を交信します。
- ④ 「登録情報の削除を行いました。」というメッセージが表示されますので、「OK」ボタンを押してください。
- ⑤ Photo ExpressViewer が終了します。これで、「プロダクト・キー登録の解除」の手続きまでは完了しました。
- ⑥ 本ソフトウェアをご使用になる新たな PC で Photo ExpressViewer を起動し、プロダクト・キーの登録をおこなってください。

1.2.4. プロダクト・キーの登録に関する問い合わせ

本ソフトウェアでは、プロダクト・キーの登録、再登録、他の PC への移行について、インターネットを経由して、お客様ご自身で自動的にお こなう方法を提供しております。弊社にお問い合わせいただく前に、これらの方法を活用して、お客様ご自身で問題点を解決することがで きないかどうか、いま一度ご確認いただけますようお願い申し上げます。

問題点の解決方法について、弊社ホームページ(<u>https://www.isl.co.jp/pexv/</u>) に情報が掲載されている場合がございます。 ユーザーサポートの「FAQ(よくあるご質問)」をご活用ください。

それでも、お客様ご自身で問題点の解決ができない場合には、メールにて弊社サポートまでお問い合わせください。

(メールアドレス: <u>support@isl.co.jp</u>)

その際に、できるだけ詳しく障害内容を記載していただくことと、必要事項に漏れがないことをご確認ください。

【メールにご記載いただく必要事項】
 ソフトウェア名: Photo ExpressViewer
 ソフトウェアのシリアル番号
 お客様のお名前
 お電話番号
 返信先メールアドレス
 障害内容(できるだけ詳しく)

2. 操作の流れと画面構成

2.1. 操作の流れ

Photo ExpressViewerは、JPEG、TIFF画像に加えて、RAW データに埋め込まれたプレビュー画像を表示し、カラーマークやレーティ ングなどを付加することでファイルの分類・整理を簡単におこなうことができる画像ビューアソフトです。 ファイルを開いてから画像を整理するには、次のような手順でおこないます。

A. 画像を開く



ファイル・フォルダを選択して開きます。 SD カードなどのメディアから画像を取り込む機能を使用して 画像を開くこともできます。 B. 画像を表示する



開いた画像を様々な表示モードで表示し、必要に応じて 整理をおこなうためにマークやレーティングを付加します。

C. 画像を分類する、並び替える



付加したマークやレーティングで画像を絞り込んだり、 画像情報から絞り込み・並び替え表示などをおこないます。

D. 画像を整理する



絞り込んだ画像を一括して移動したり、リネームをおこなって ファイルを整理します。

XMP 形式で画像情報を書き出すことで、他の画像編集ソフト でカラーラベルやレーティング等を引き継ぐこともできます。

上記はあくまでも一例です。メディアからの取り込みのみを行いたい、画像ファイルの一括リネームのみに使用したい、など、ご希望の用途に応じて、Photo ExpressViewer が持つ豊富な機能をご自由に使用していただけます。

2.2. 画面各部の名称と基本機能



	名称	概要
1	メニューバー	メニューから機能を実行します。
2	ツールバー	アイコンをクリックし、機能を実行します。
3	フォルダツリー	フォルダが階層構造で表示されます。画像が保存されているフォルダを選択します。
4	ヒストグラム	選択されている画像の明るさの分布をグラフで表示します。
5	画像のプロパティ	選択されている画像の EXIF 情報や IPTC 情報などの画像情報を表示します。
6	ステータスバー	アイコンをクリックし、マークやレーティングを設定します。
7	プレビュー・サムネイル	画像をプレビュー表示またはサムネイル表示します。

2.3. メニューバー

メニューを選択して、機能を実行します。

ファイル(<u>F</u>) 編集(<u>E</u>) 表示(<u>V</u>) 画像(<u>I</u>) オプション(<u>O</u>) ヘルプ(<u>H</u>)

2.3.1. ファイル

ファイルに関係するメニュー項目をまとめています。

名称	概要
ファイルを開く	表示する RAW データや JPEG/TIFF 画像をファイル単位で開きます。
閉じる	開いているコマをすべて閉じます。
メディアからの取り込み	SD カードなどのリムーバブルメディアから画像をコピーします。

コピー予約コマのコピー	コピー予約されているコマのファイルをコピーします。
移動予約コマのコピー	移動予約されているコマのファイルを移動します。
削除予約コマの削除	削除予約されているコマのファイルを削除します。
選択コマのコピー	選択されているコマのファイルをコピーします。
選択コマの移動	選択されているコマのファイルを移動します。
選択コマの削除	選択されているコマのファイルを削除します。
選択コマの一括リネーム	選択されているコマのファイル名を一括リネームします。
選択コマを閉じる	選択されているコマを閉じます。
終了	Photo ExpressViewer を終了します。
他のアプリケーションで開く	選択されているコマのファイルをあらかじめ登録した他のアプリケーションで開きます。
フォルダ履歴	これまでに開いたフォルダの履歴を表示します。

2.3.2. 編集

コマの選択状態などを変更する種類の操作をまとめています。

名称	概要
すべてのコマを選択	開いているコマのすべてを選択状態にします。
予約・マークのコマの選択	予約・マークのついたコマを選択状態にします。
選択の反転	各コマの選択状態を反転します。
画像の回転 +90°	選択されているコマを時計回りに 90°回転します。
画像の回転 -90°	選択されているコマを反時計回りに 90°回転します。

2.3.3. 表示

メインウィンドウやサブコントロールの表示に関する項目をまとめています。

名称	概要
サムネイル表示	サムネイル表示に切り替えます。
コンビネーション表示(上下)	上下配置のコンビネーション表示に切り替えます。
コンビネーション表示(左右)	左右配置のコンビネーション表示に切り替えます。
プレビュー表示	プレビュー表示に切り替えます。
マルチプレビュー(左右)	左右配置のマルチプレビュー表示に切り替えます。
マルチプレビュー(上下)	上下配置のマルチプレビュー表示に切り替えます。
前のコマヘ	選択コマを一つ手前のコマに移動します。
次のコマヘ	選択コマを次のコマに移動します。
表示倍率	プレビューに表示されている画像を、等倍表示または全体表示に切り替えます。
グリッド表示	プレビュー上にグリッド線を表示します。
ツールバーを表示	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。
ステータスバーを表示	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。

フォルダツリー	フォルダツリーの表示/非表示を切り替えます。
画像のプロパティ	画像のプロパティの表示/非表示を切り替えます。
ヒストグラム	ヒストグラムの表示/非表示を切り替えます。
検索	「検索」サブコントロールの表示/非表示を切り替えます。
フィルタ	「フィルタ」サブコントロールの表示/非表示を切り替えます。

2.3.4. 画像

選択コマのマークやレーティングなどの設定を変更する操作をまとめています。

名称	概要
画像の回転 +90°	選択されているコマを時計回りに 90°回転します。
画像の回転 -90°	選択されているコマを反時計回りに 90°回転します。
予約・マークの一括設定	選択されている複数のコマに対してマークを一括設定します。
コピー・移動予約	選択されているコマにコピー・移動予約を設定します。
削除予約	選択されているコマに削除予約を設定します。
ユーザーマーク1[青]	選択されているコマにユーザーマーク 1[青]を設定します。
ユーザーマーク 2[緑]	選択されているコマにユーザーマーク2[緑]を設定します。
ユーザーマーク 3[赤]	選択されているコマにユーザーマーク3[赤]を設定します。
ユーザーマーク4[黄]	選択されているコマにユーザーマーク4[黄]を設定します。
ユーザーマーク 5[紫]	選択されているコマにユーザーマーク 5[紫]を設定します。
お気に入り	選択されているコマにお気に入りを設定します。
予約・マークの全解除	選択されているコマのマークをすべて解除します。
レーティングなし	選択されているコマのレーティングを解除します。
レーティング 1	選択されているコマにレーティング1を設定します。
レーティング 2	選択されているコマにレーティング2を設定します。
レーティング 3	選択されているコマにレーティング3を設定します。
レーティング 4	選択されているコマにレーティング4を設定します。
レーティング 5	選択されているコマにレーティング 5 を設定します。
画像情報の書き出し	選択されているコマの編集された画像情報を XMP 形式または SILKYPIX 現像パラ メータファイル形式にて書き出します。

2.3.5. オプション

設定に関する項目をまとめています。

名称	概要
表示設定	プレビュー表示やサムネイル表示に関する設定をおこないます。
機能設定	Photo ExpressViewer 全般の機能や操作に関する設定をおこないます。
キー設定	機能に対するショートカットキーの設定をおこないます。

画像情報の書き出し設定	画像情報の書き出しに関する設定をおこないます。
ツールバーのカスタマイズ	ツールバーに表示するアイコンの順序や表示/非表示の設定をおこないます。
IPTC 情報テイストの編集	IPTC 情報テイストとして登録したテイストのリスト表示を編集します。
コントロール配置の登録	メインウィンドウや表示されているコントロールの配置状態を登録します。
コントロール配置の復元	登録されたコントロールの配置状態を復元します。
アクセス履歴の消去	これまでに開いたフォルダの履歴を消去します。
コントロール表示状態の初期化	メインウィンドウや表示されているコントロールの状態を初期化します。
スキンの選択	アイコン・文字の大きさや、コントロールの色を変更します。

2.3.6. ヘルプ

ライセンス登録やソフトウェアの情報に関する項目をまとめています。

名称	概要
ソフトウェアマニュアルを開く	本ソフトウェアマニュアルを表示します。
Photo ExpressViewer Web サイトを表示	Photo ExpressViewerの Web サイトを表示します。
プロダクト・キーの登録	プロダクト・キーの登録をおこないます。
プロダクト・キー登録の解除	プロダクト・キー登録の解除をおこないます。
トラブルシューティング	 弊社サポートからの指示にしたがって操作していただくトラブル対処用の機能です。 ユーザー設定ファイルの初期化 Photo ExpressViewer のユーザー設定ファイルを初期化します。 一時ファイルの削除 Photo ExpressViewer がプレビュー・サムネイル表示等のために作成した一時ファイルを削除します。 プロダクト・キーの登録テスト プロダクトキーのオンライン登録が可能かどうかのテストをおこないます。
バージョン情報	Photo ExpressViewerのバージョン情報とお客様のライセンス情報を表示します。
システム情報	Photo ExpressViewerの設定や PC の情報を表示します。 ユーザーサポート時、弊社サポートより本情報の提供をお願いすることがございます。
ソフトウェアのアップデートを確認	新しいバージョンのプログラムの有無を確認します。

2.4. ツールバー

アイコンをクリックすることで、機能を実行します。 ツールバーには、使用頻度の高い機能のアイコンを配置してあります。



	名称	概要
1	メディアからの取り込み	SD カードなどのリムーバブルメディアから画像をコピーします。
2	前のコマへ	選択コマを一つ手前のコマに移動します。
3	次のコマへ	選択コマを次のコマに移動します。
4	同名ファイルをグループ	拡張子が異なる同名ファイルをグループとして扱うかどうかを切り替えます。
	として扱う	同名の JPEG と RAW を並べて表示したい場合はオフにします。
5	選択コマのコピー	選択されているコマのファイルをコピーします。
6	選択コマの移動	選択されているコマのファイルを移動します。
7	サムネイル表示	サムネイル表示に切り替えます。
8	コンビネーション表示(上下)	上下配置のコンビネーション表示に切り替えます。
9	コンビネーション表示(左右)	左右配置のコンビネーション表示に切り替えます。
10	プレビュー表示	プレビュー表示に切り替えます。
11	マルチプレビュー(左右)	左右配置のマルチプレビュー表示に切り替えます。
12	マルチプレビュー(上下)	上下配置のマルチプレビュー表示に切り替えます。
13	全画面プレビュー	プレビューを全画面表示にします。
14	画像の回転 -90°	選択されているコマを時計回りに 90°回転します。
15	画像の回転 +90°	選択されているコマを反時計回りに 90°回転します。
16	グリッド表示	プレビュー上にグリッド線を表示します。

ツールバー右側の「絞り込み」および「並び替え」については、それぞれ「<u>コマを絞り込む</u>」、「<u>画像情報での並び替え</u>」をご参照ください。

3. 画像を開く

Photo ExpressViewer で画像の選別・整理をおこなうために、RAW データや JPEG/TIFF 画像を開きます。 画像ファイルをファイル単位で指定する方法、フォルダ単位で指定する方法のほかに、SD カード等のリムーバブルメディアからファイルをコピ ーして開く方法があります。

3.1. ファイルを開く

メニューの[ファイル]-[ファイルを開く...]を選択します。「ファイルを開く」ダイアログから、画像ファイルを選択して開きます。 エクスプローラからファイルをドロップすることで開くこともできます。

3.2. フォルダを開く

画面左側のフォルダツリーから対象のフォルダを選択します。 エクスプローラからフォルダをドロップすることで開くこともできます。

	名称	概要
1	フォルダ履歴	過去に開いたフォルダを選択して開くことができ ます。
2	サブフォルダの指定	フォルダの中にあるフォルダ(サブフォルダ)に保 存されている画像を一度に開くことができます。
3	フォルダの表示を更新	フォルダツリーの表示を更新します。



3.3. メディアから取り込む

SD カード等のリムーバブルメディアから画像ファイルを PC にコピーした後、開きます。

Photo ExpressViewer が起動している際に SD カード等のメディアを挿入すると、「メディアからの取り込み」ダイアログが表示されます。 既にメディアが挿入されている場合は、[ファイル]-[メディアからの取り込み...]を選択するか、ツールバーの 💽 アイコンをクリックします。 次の各設定をおこなった後、[取り込み]ボタンを押すと、取り込み元のメディアからファイルのコピーがおこなわれます。

E:¥ ✓ ►	C:¥Users¥isI¥Pictures	
取り込み対象 フォルダ ④ DCIMフォルダ以下 ○ すべてのフォルダ ○ 指定したフォルダ以下 ファイル □ すべて □ RAW □ JPEG	取り込み完了後の処理 □ メディアを取り外す ☑ 取り込み先フォルダを開く 同一ファイル名の処理 スキップする	5
 振り分け リネーム ✓ ファイルのフォルダ振り分けをおこなう サブフォルダ 日付 (YYYY_MM) 一段下 (設定なし) 二段下 (設定なし) 	 ✓ ✓ 	
日付の扱い ファイル/作成日時 ~		

3.3.1. 基本設定

	名称	概要
1	取り込み元	取り込み元のメディアが挿入されたドライブを選択します。
		※リムーバブルディスクのみが表示されます
2	取り込み先	ファイルのコピー先を指定します。
3	フォルダ	取り込み元ドライブの取り込み対象とするフォルダを指定します。
		■ DCIM フォルダ以下
		取り込み元ドライブの"DCIM"フォルダ以下を対象とします。
		デジタルカメラ等で撮影された画像は、通常"DCIM"という名称のフォルダ以下
		に記録されるため、撮影データ全体を対象としたい場合に選択します
		■ すべてのフォルダ
		取り込み元で指定したドライブにあるすべてのフォルダを対象とします。
		■ 指定したフォルダ以下
		取り込み元ドライブ以下の任意のフォルダを対象とします。
4	ファイル	取り込み対象とするファイル種類を指定します。
		「すべて」を選択した場合、RAW, JPEG に加えてその他の種類のファイル(動画ファイ
		ルなど)も取り込み対象となります。

5	メディアを取り外す	取り込み完了後、取り込み元のリムーバブルメディアを外します。
6	取り込み先フォルダを	取り込み完了後、取り込み先のフォルダを開きます。
	開く	複数のフォルダにコピーされた場合、いちばん最後にコピーされたファイルが存在するフ
		ォルダが開かれます。
7	同一ファイル名の処理	取り込み先に同一ファイル名が存在した場合の処理を指定します。

3.3.2. 振り分け

「ファイルのフォルダ振り分けをおこなう」にチェックが入っている際、指定した項目のフォルダを作成し、そこに該当する画像を振り分けます。 フォルダとなる項目は 3 階層まで指定することができます。

たとえば、2020/11/1~2020/12/31 までに撮影された SD カードを取り込み元とし、サブフォルダ:「日付 (YYYY)」、一段下:「日 付 (MM)」、二段下:「日付 (DD)」と指定します。この場合、「2020」フォルダの下に「11」および「12」フォルダが作成され、さらに各フ ォルダの下に「1」、「2」、・・・と日付別のフォルダが作成されて、各日の撮影画像がコピーされます。

日付については、「日付の扱い」で指定された日時(撮影日時またはファイル作成日時)が対象となります。 なお、指定した項目が取り込み対象のファイルから取得できなかった際、「未分類」という名称のフォルダが作成され、このフォルダに振り分 けられます。

3.3.3. リネーム

「ファイルをリネームする」にチェックが入っている際、取り込み対象のファイルを指定した規則にしたがってリネームしてコピーします。 リネームの設定や規則については、「選択コマの一括リネーム」と同一ですので、こちらをご参照ください。

4. 画像を表示する

開いた画像を、さまざまな表示モードにて表示することができます。 表示モードは、以下のツールバー上のボタンや、[表示]メニューから切り替えることができます。



4.1. サムネイル表示

画像の縮小版を一覧で表示します。サムネイルをダブルクリックするとプレビュー表示となります。 サムネイルの大きさは、ツールバー右側の「サムネイルのコマの横幅」スライダーで変更することができます。 それぞれのサムネイルを、Photo ExpressViewer では「コマ」と呼びます。



4.2. コンビネーション表示

サムネイル表示とプレビュー表示を同時に表示します。サムネイルとプレビューは上下または左右に表示することができます。 サムネイルのコマを選択すると、その画像がプレビュー画面に表示されます。



4.3. プレビュー表示

画像一枚を大きく表示します。

画像をダブルクリックすると等倍表示・全体表示を切り替えることができます。

また、メニューの[表示]-[グリッド表示]またはツールバー上の 🗰 アイコンをクリックすると、プレビュー上にグリッド線を表示することができま す。



4.4. マルチプレビュー

2 画面表示で上下または左右に 2 つの画像を表示することができます。 片方のプレビューの周囲に表示されている枠は選択状態のプレビューであることを示しています。 コマの選択や切り替えをおこなうと、選択状態のプレビューに反映されます。



4.5. 全画面表示

プレビューを全画面表示にします。マルチモニタ環境では、メインウィンドウのあるモニタとは別のモニタにプレビューが表示されます。 全画面表示を終了する場合は、画面右上の[×]ボタンをクリックするか、[Esc]キーを押します。

4.6. 画像情報の表示

画像に記録されている EXIF や IPTC などの撮影情報を「画像のプロパティ」サブコントロールに表示します。

IPTC 情報は編集がおこなえます。編集した情報は、IPTC 情報テイストとして保存し、他のコマに適用することが容易におこなえます。

IPTC 情報テイストの登録については、「IPTC 情報テイスト」をご参照ください。

> 🏓 画像の	₽₽₰₸₮	⊧≡	
項目名	情報		^
	ファイル情報		
ファイル	IMG_0064.CR2		
サイズ	33.67MB (35309137Byte)		
フォルダ	C:¥image3		
更新日時	2018/07/15 08:18:40		
	画像情報		
画素	6240 x 4160 ピクセル		
回転	回転なし(1)		
メーカー	Canon		
モデル	Canon EOS 6D Mark II		
色空間	sRGB		
レーティング	승승승	1	1
コメント			3
	撮影情報		
撮影日時	2018/07/15 08:18:40		
ISO感度	ISO100		
シャッター	1/1250		
絞り値	F4.0		
焦点距離	24.0mm		
レンズ	EF24-105mm f/4L IS USM		
露出Program	絞り優先		
露出補正	0.0EV		
測光方式	パターン測光		
フラッシュ	強制非発光		
露出モード	オートプラケット		
WhiteBalance	ホワイトバランス自動		1
	GPS		
緯度			2
経度			
高度			3
撮影方向			3
100 C	IPTC情報		
マニュアル指定	×	1	Þ
キャプション			2
記入者			2
タイトル			2
連絡先			
撮影者		0	1
職名			1
Ξ			1
郵便番号			1
州(郡)			· ~

4.7. 同名ファイルの表示について

拡張子が異なる同一ベース名の RAW、JPEG、TIFF ファイルが存在する場合、機能設定またはツールバー上の「同名ファイルをグループ として扱う」が有効かどうかで表示されるコマが変化します。

- 「同名ファイルをグループとして扱う」が有効な場合 RAW ファイルが代表画像として表示されます。
- 「同名ファイルをグループとして扱う」が無効な場合 各ファイルが個別に表示されます。

たとえば、同時記録 JPEGと RAW を並べて表示したい場合、「同名ファイルをグループとして扱う」を無効にします。

各コマに対するファイル操作をおこなった際のふるまいは、「コピー・移動・削除・リネーム対象となるファイル」をご参照ください。

4.8. プレビュー表示がおこなえない RAW データについて

Photo ExpressViewerは、RAW データ中に含まれるプレビュー画像を使用してプレビューやサムネイルを表示します。 このため、RAW データによってはプレビュー、サムネイルが以下の表示になることがあります。

■ プレビュー、サムネイルに「?」アイコンが表示される

RAW データ中にプレビュー画像が含まれないため、プレビュー、サムネイルを表示することができないことを示しています。



■ サムネイルに「?」アイコンが表示されるが、プレビューは画像が表示される

RAW データ中にプレビュー画像が含まれるが、高画素のプレビュー画像しか含まれないため、サムネイルを表示することができないことを示しています。

■ プレビュー画像がぼやけて表示される(等倍表示をおこなうと表示画像が小さくなる)

RAW データ中に低画素のプレビュー画像(サムネイル相当)しか含まれず、この画像をプレビューに拡大して表示しているため、ぼやけた表示になります。

プレビュー表示されている画像の画素サイズが画像のプロパティ中の「プレビュー画素」の項目に表示されていますので、こちらのサイズ をご確認ください。(本項目は、サムネイル表示時には表示されません)

回行:1月取	非注稿CFA	
	画像情報	
画素	4000 x 3000 ピクセル	
プレビュー画素	160 x 120 ピクセル	
回転	回転なし(1)	

開いた画像を分類・整理するために、選択されたコマにマークやレーティングを設定します。 設定されたマーク・レーティングや撮影情報などから絞り込み表示をおこないます。

5.1. マーク・レーティングを設定する

画面下部のステータスバー上のアイコンをクリックして、選択されたコマに対してマーク・レーティングを設定します。 [画像]メニューや、プレビュー・サムネイル上で右クリックして表示されるコンテキストメニュー上からも設定がおこなえます。 また、あらかじめ設定されているショートカットキーを使用することで、効率的に設定することができます。



	名称	ショートカットキー	概要
1	コピー・移動予約を設定	Num7	コピー・移動予約を設定します。
2	削除予約を設定	Num8	削除予約を設定します。
3	ユーザーマーク 1~5 を設定	Num1~Num5	ユーザーマーク 1~5 の各マークを設定します。
4	お気に入りを設定	Num6	お気に入りを設定します。
5	予約・マークの全解除	Num0	設定されているマークをすべて解除します。
6	レーティングを解除	Ctrl+0	設定されているレーティングを解除します。
7	レーティング 1~5 を設定	Ctrl+1~Ctrl+5	レーティング 1~5 を設定します。

マーク・レーティングが付加されると、サムネイル上に設定されたマークやレーティングが表示されます。



なお、サムネイル上のマークやレーティングは、表示設定にて非表示にすることができます。 また、サムネイルのコマの横幅が一定サイズより小さい場合、レーティングが非表示となります。

5.1.1. 予約・マークの一括設定

複数のコマを選択時、「予約・マークの一括設定」ダイアログ上でマークの一括設定がおこなえます。 [画像]メニューまたはサムネイルを右クリックして表示されるコンテキストメニューから「予約・マークの一括設定」を選択します。 選択されたコマに対する各マークの設定状況が表示されます。

すべてのコマで設定されている場合はチェック表示、一部のコマで設定されている場合は■で表示されます。

一括して設定したいマークにチェックを入れて、[決定]をクリックします。

5.2. コマを絞り込む

あらかじめ設定されたマークやレーティングに加えて、画像のファイル情報や撮影情報などから表示するコマを絞り込みます。 コマの絞り込みは、ツールバー右側の「絞り込み」からおこないます。



	名称	概要
1	検索	ファイル情報や撮影情報などの条件を指定し、任意の文字列・数値を入力して表示 対象を絞り込みます。 アイコンをクリックすると、「検索」サブコントロールが表示されます。
2	フィルタ	ファイル情報や撮影情報などの条件を指定し、値を選択することで表示対象を絞り 込みます。 アイコンをクリックすると、「フィルタ」サブコントロールが表示されます。
3	マークで絞り込む	アイコンをクリックすると、該当するマークが付加されたコマを絞り込み表示します。 絞り込みがおこなわれているマークは、アイコンが明るく表示されます。 該当するマークの表示対象が無い場合、アイコンをクリックしても明るくなりません。
4	レーティングで絞り込む	アイコンをクリックすると、各レーティングの値が付加されたコマを絞り込み表示します。 絞り込みがおこなわれているレーティングは、アイコンが明るく表示されます。 該当するレーティングの表示対象が無い場合、アイコンをクリックしても明るくなりません。
5	すべての絞り込みを解除	絞り込み表示されているすべての条件を一度に解除します。

複数のマークやレーティングで絞り込み表示をおこなった場合、いずれかのマーク・レーティングを含むすべてのコマ(OR 検索)が表示対象となります。

コマの絞り込み表示がおこなわれている間、タイトルバーに [絞り込み表示] と表示されます。

😵 Photo ExpressViewer #31/42(1244) [絞り込み表示]

また、「検索」や「フィルタ」を設定して絞り込み表示がされている間、該当するアイコンが黄色の表示となります。



開いているフォルダを切り替えると、絞り込み表示は解除されます。

5.2.1. 検索

任意の文字列・数値を指定して、表示するコマを絞り込みます。 検索条件として指定できる項目は、次の通りです。

- ファイル名
- ISO 感度
- F値
- 焦点距離
- コメント
- 撮影日
- カメラ
- レンズ
- シャッター速度
- レーティング

₽ 検索)≡ ×
		—
2018/07/15	と同じ	~
-√√ 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2		
3	以上	~
ſ₽		—)
		~
ſ₽		
		~
検索	<u>/</u>	דע

チェックを入れた後、検索する項目を選択し、文字列、数値、日付を入力し、条件を設定します。 [検索]ボタンをクリックすると、絞り込み表示をおこないます。絞り込み表示を解除するには、[クリア]ボタンをクリックします。 複数の検索項目を指定した場合、それぞれの条件をすべて満たす(AND 検索)ように絞り込み表示がおこなわれます。

5.2.2. フィルタ

指定した項目に対する値のリストを選択することで、表示するコマを絞り込みます。 フィルタの条件として指定できる項目は、次の通りです。

- ファイル名
- 拡張子
- ISO 感度
- F値
- 焦点距離
- コメント
- 撮影日
- カメラ
- レンズ
- シャッター速度
- 画像の向き
- ユーザーマーク
- レーティング

たとえば、「撮影日」を選択した際、現在表示しているコマの撮影日の一覧が以下のようにドロ ップダウンリストで表示されます。

絞り込みをおこないたい撮影日をリストから選択することで、該当するコマのみを絞り込み表示します。



Ţ	ં ગ્રામ્લ	¥≡ ×
	撮影日	ر×—×
կ	2018/07/15	·
	2018/07/16	3
	2018/07/18	
	2018/07/19	

複数のフィルタ項目を設定する場合、一つ上のフィルタ項目での絞り込み結果に対するフィルタとなります。

たとえば、1 つ目のフィルタ項目で撮影日「2018/07/15」を選択した後、2 つ目のフィルタ項目で画像の向き「たて」を選択した場合、 「撮影日 2018/07/15 のたて画像」の結果が絞り込み表示されます。

フィルタ項目を削除して絞り込み表示を解除したい場合、各フィルタ項目の×をクリックします。

なお、フィルタ項目を選択した際、(情報を準備中...) と表示され、ドロップダウンリストが選択 できない場合があります。

フォルダを開いた直後や、開いているファイル数が多く、表示する情報の取得に時間を要している場合に表示されます。

ドロップダウンリストが選択可能になるまで、しばらくお待ちください。



6. コマを並び替える

サムネイル表示されているコマの表示順序を画像のファイル情報や画像情報などで並び替えます。 また、コマをドラッグすることで、任意の順序に並び替えをおこないます。

6.1. 画像情報での並び替え

コマの並び替えは、ツールバー右側の「並び替え」からおこないます。

	並び著	記 ファイル名 / 昇順 / 日 日
	名称	概要
1	並び替え項目	コマの表示順序に使用する項目を選択します。
2	昇順·降順	指定した項目に対して、昇順または降順のどちらで並び替えるかを選択します。

指定可能な並び替え項目は、次の通りです。

- ファイル名
- 拡張子
- ISO 感度
- F値
- 焦点距離
- ファイル更新日時
- 撮影日時
- カメラ
- レンズ
- シャッター速度
- コピー・移動予約
- 削除予約
- ユーザーマーク1[青]
- ユーザーマーク 2[緑]
- ユーザーマーク3[赤]
- ユーザーマーク4[黄]
- ユーザーマーク5[紫]
- レーティング

- [IPTC 情報]
- キャプション
 記入者
 タイトル
- 撮影者
- 職名
- 玉
- 郵便番号
- 州(郡)
- 都市
- 住所
- 電話
- Eメール
- ウェブ URL
- 撮影日時
- 撮影国
- 撮影国コード
- 撮影地域

- 撮影都市
- 撮影場所
- 見出し
- ジョブ番号
- SubjectCode
- ジャンル
- シーン
- カテゴリ
- 追加カテゴリ
- キーワード
- 著作権表示
- 著作使用条件
- プロバイダー
- 編集注記

並び替え項目の設定は Photo ExpressViewer を終了する際に保存されますので、次回起動時は前回の設定で並び替えがおこなわれます。

フォルダを開いた直後や、開いているファイル数が多い場合、並び替え項目を切り替えた際にプログレスダイアログが表示され、並び替えに時間を要することがあります。

6.2. ドラッグでの並び替え

サムネイル上でコマをドラッグすることで、任意の順序に並び替えをおこないます。 コマをドラッグすると、コマとコマの間に縦線が表示されます。



移動したい場所でマウスを離すと、縦線が表示されている部分にドラッグしたコマが移動します。



ドラッグして並び替えをおこなうと、ツールバー上の並び替え項目のドロップダウンリストに「(マニュアル)」と表示されます。 ドロップダウンを切り替えて別の項目を選択すると、ドラッグによる並び替え順序は破棄されます。



また、開いているフォルダを切り替えたり、Photo ExpressViewer を終了した際には、ドラッグによる並び替え順序は保存されず破棄されますのでご注意ください。

7. 画像を整理する

選択したコマのファイルをコピー・移動・削除したり、撮影情報によるファイル名のリネームをおこないます。

また、選択したコマを他のアプリケーションで開いたり、画像情報の書き出しをおこなって、他のアプリケーションでマークやレーティング等の設 定を反映します。

7.1. コピー・移動・削除

画像のコピー・移動・削除をおこなう方法として、次の方法があります。

∎ ⊐ピ–

「選択コマのコピー」または「コピー予約コマのコピー」で画像のコピーをおこないます。 「コピー予約コマのコピー」は、あらかじめコマに「 🌇 コピー・移動予約」マークを設定したコマが対象となります。

それぞれのメニューを選択すると、「コピー先フォルダの選択」ダイアログが表示されますので、コピー先フォルダを指定して[OK]をクリックします。

■ 移動

「選択コマの移動」または「移動予約コマの移動」で画像の移動をおこないます。 「移動予約コマの移動」は、あらかじめコマに「 🌇 コピー・移動予約」マークを設定したコマが対象となります。

それぞれのメニューを選択すると、「移動先フォルダの選択」ダイアログが表示されますので、移動先フォルダを指定して[OK]をクリック します。

また、サムネイル上のコマをフォルダツリー上の移動したいフォルダにドラッグして移動することもできます。

■ 削除

「選択コマの削除」または「削除予約コマの削除」で画像の削除をおこないます。 「削除予約コマの削除は、あらかじめコマに「🔀 削除予約」マークを設定したコマが対象となります。

削除には、ゴミ箱へ移動する削除と、完全に削除する2種類があり、初期の動作はゴミ箱へ移動されます。 ※ 外付けハードディスクやネットワークドライブ上のファイルは、ゴミ箱への移動ではなく完全に削除されます。ご注意ください。 [Shift]キーを押しながらメニューを選択すると、完全に削除されます。

いずれの場合も、削除を問い合わせるダイアログが表示されますので、[開始]をクリックします。 [ファイル選択]を押して、削除対象の関連ファイルを選択することもできます。

7.2. リネーム

ファイル名の変更をおこなう方法として、次の2つの方法があります。

■ 名前の変更

1つのコマを選択している際に使用できます。

サムネイルを右クリックして表示されるコンテキストメニューから[名前の変更]を選択	4
します。	م ا
「名前の変更」ダイアログが表示されますので、変更後のベースファイル名を入力し	
て[OK]をクリックします。	84

名前の変	更		×
同一フォルダに存在するペース名が一致する全てのファイル名を変 更します。拡張子の変更はできません。			
現在	IMG_0001		
変更後	image		
		OK	キャンセル

■ 選択コマの一括リネーム

1 つまたは複数のコマを選択している際に使用できます。

7.2.1. 選択コマの一括リネーム

選択されているすべてのコマを、命名規則にしたがって一括でリネームをおこないます。 複数のコマを選択後、[ファイル]-[選択コマの一括リネーム]メニューを選択すると、「選択コマの一括リネーム」ダイアログが表示されます。

次の設定をおこなった後、[OK]をクリックすると一括リネームが実行されます。

ファイルのベース名 任意文字 〜	1 パターン ~	2 拡張子 連番 ~ , 変換しない ~
任意文字 パース		連番 桁数 5桁 ✓ 1→
184 2	追加	☑ 使用済みの番号を更新する
バターク IMG (固定文字)	~	同一ファイル名の処理 自動拡張する ~
リネーム前	リネーム後	
リネーム前 IMG_0247.CR2	リネーム後 IMG00001.CF	12
リネーム前 IMG_0247.CR2 IMG_0245.CR2	リネーム後 IMG00001.CF IMG00002.CF	12
リネーム前 IMG_0247.CR2 IMG_0245.CR2 IMG_0246.CR2	リネーム後 IMG00001.CF IMG00002.CF IMG00003.CF	12 12 12 12
リネーム前 IMG_0247.CR2 IMG_0245.CR2 IMG_0246.CR2 IMG_0248.CR2	リネーム後 IMG00001.CF IMG00002.CF IMG00003.CF IMG00004.CF	12 12 12 12 12
リネーム前 IMG_0247.CR2 IMG_0245.CR2 IMG_0246.CR2 IMG_0248.CR2 IMG_0249.CR2	リネーム後 IMG00001.CF IMG00002.CF IMG00003.CF IMG00004.CF IMG00005.CF	12 12 12 12 12 12
リネーム前 IMG_0247.CR2 IMG_0245.CR2 IMG_0246.CR2 IMG_0248.CR2 IMG_0249.CR2 IMG_0250.CR2	リネーム後 IMG00001.CF IMG00002.CF IMG00003.CF IMG00004.CF IMG00005.CF	12 12 12 12 12 12 12 12 12

	名称	概要
1	ファイルのベース名	ファイルのベース名の命名規則を次の項目から組み合わせて設定します。
		■ 任意文字
		■ パターン
		■ 連番
2	拡張子	拡張子を大文字、小文字にするか、変更しないかを設定します。
3	任意文字	任意の文字列を指定します。

		 ドロップダウンから次の項目を指定して[追加]をクリックすると、リネーム対象のコマの画像情報を用いたリネームをおこなうための制御文字が挿入されます。 ベース (%N): 拡張子を除いた元ファイル名 焦点距離 (%L) F値 (%F) Shutter (%T): シャッター速度 年月日 (%Y%M%D) 時分秒 (%h%m%s) ISO 感度 (%I)
4	パターン	あらかじめ用意された文字列から選択します。
5	連番	連番の桁数と最初の数値を指定します。 「使用済みの番号を更新する」にチェックが入っている場合、次回ダイアログ表示時に 割り当て済みの連番の次の番号が開始番号として設定されます。
6	同一ファイル名の処理	リネーム後のファイルがすでに存在する場合、ファイル名を自動的に拡張するか、毎回 確認をおこなうかを選択します。
7	リネーム前後ファイル名	リネーム前のファイル名と、命名規則にしたがったリネーム後のファイル名が表示されま す。

7.3. コピー・移動・削除・リネーム対象となるファイル

Photo ExpressViewer では、拡張子を除いたベース名が同一の複数のファイルを同一のコマとして扱います。 たとえば、IMG_0001.RAW, IMG_0001.JPG, IMG_0001.TIF, IMG_0001.XMP が同じフォルダに存在する場合、「同名ファイ ルをグループとして扱う」の設定により、次のように操作がおこなわれます。

【RAW ファイルを操作】

- 「同名ファイルをグループとして扱う」が有効な場合
 RAW, JPEG, TIFF, XMP ファイルすべてが操作対象となります。
- 「同名ファイルをグループとして扱う」が無効な場合
 JPEG, TIFF ファイルを除いたファイルが操作対象となります。

【JPEG/TIFF ファイルを操作】

- 「同名ファイルをグループとして扱う」が有効な場合(RAW ファイルが存在しないことが前提となります) JPEG, TIFF ファイルが操作対象となります。 XMP ファイルは操作対象となりません。
- 「同名ファイルをグループとして扱う」が無効な場合 JPEG または TIFF ファイル単独が操作対象となります。 XMP ファイルは操作対象となりません。

また、Photo ExpressViewer でマークやレーティングなどを編集した際、これらの情報は "PEXV_PARAM" というサブフォルダ以下に "IMG_0001.RAW.ped" といった拡張子 ".ped" の情報ファイルを作成し保存します。

画像ファイルの操作をおこなう際は、この情報ファイルも同時に操作対象となります。

※ 弊社 RAW 現像ソフト「SILKYPIX」の現像パラメータファイルが "SILKYPIX_DS" サブフォルダに存在する場合、同様に操作対象となります。

7.4. 画像情報の書き出し

選択コマに設定したユーザーマークやレーティングなどの情報を、XMP 形式または SILKYPIX 現像パラメータファイル形式で書き出します。 [画像]-[画像情報の書き出し]メニューまたはプレビュー・サムネイル上で右クリックして表示されるコンテキストメニュー上の[画像情報の書 き出し]から各形式を選択します。

7.4.1. XMP 形式

XMP 形式で画像情報を書き出します。

XMP 形式の画像情報の読み込みに対応したソフトウェアで画像を開いた際、Photo ExpressViewer で設定したユーザーマークやレー ティングなどの情報を引き継ぐことができます。

選択コマが RAW の場合、拡張子 ".xmp" の同名ファイル(サイドカーファイル)として保存します。

JPEG/TIFF の場合、原画ファイルに XMP 形式の情報を書き込み保存します。

※ サイドカーファイルとして保存する際、元の xmp ファイルは上書きされます。他のソフトウェアで出力された情報が失われることがござい ますので、十分ご注意ください。

書き出し対象の画像情報は次の通りです。

- ユーザーマーク1~5
- レーティング
- 回転情報
- IPTC 情報

なお、引き継ぎ先のソフトウェアにより、反映される画像情報は異なります。 レーティングのみ反映される場合や、回転情報は反映されない、といった例もございますので、あらかじめご了承ください。 詳しくは、引き継ぎ先のソフトウェアメーカー様にお問い合わせください。

【ユーザーマークの書き出し】

ユーザーマーク 1~5 の書き出しには、制限があります。 ラベルとして書き出すことが可能なユーザーマークは、1 色のみとなります。 このため、選択コマに複数のユーザーマークが設定されている場合、通常、サムネイル上で一番左に表示され ているユーザーマークが優先され、ラベルとして出力されます。



また、各ユーザーマークは、通常、次のラベル名で書き出されます。

ユーザーマーク	出カラベル名
ユーザーマーク 1[青]	ブルー
ユーザーマーク 2[緑]	グリーン
ユーザーマーク 3[赤]	レッド
ユーザーマーク4[黄]	イエロー
ユーザーマーク 5[紫]	パープル

ラベルは、画像情報の引き継ぎ先ソフトウェアでのラベル名と一致している場合のみ反映されます。 各ユーザーマークのラベル出力時の優先順位や出力ラベル名は、「画像情報の書き出し設定」で変更できます。

7.4.2. SILKYPIX 現像パラメータファイル形式

弊社 RAW 現像ソフト「SILKYPIX」の現像パラメータファイル形式で書き出します。 SILKYPIX で画像を開いた際、Photo ExpressViewer で設定したユーザーマークやレーティングなどの情報を引き継ぐことができます。

SILKYPIX の現像パラメータファイルは、 "SILKYPIX_DS" というサブフォルダを生成し、このフォルダ以下に保存します。 なお、初期状態では「SILKYPIX バージョン 10 形式」の現像パラメータファイルとして書き出されます。 お使いの SILKYPIX のバージョンが 6 から 9 の場合、「<u>画像情報の書き出し設定</u>」でバージョンを指定します。

- ※ SILKYPIX バージョン 5 以前の形式での書き出しはおこなえません。また、カメラやレンズに同梱されている SILKYPIX シリーズ(バ ンドル版)は対象外となります。
- ※ 既に書き出し対象の画像の現像パラメータファイルが存在する場合、上書き保存されます。SILKYPIX で調整された現像パラメー タは失われますので、十分ご注意ください。

書き出し対象の画像情報は次の通りです。

- ユーザーマーク1~5
- レーティング
- 回転情報
- IPTC 情報

【ユーザーマークの書き出し】

SILKYPIX バージョン8形式以前を選択した場合、ユーザーマーク4[黄]、ユーザーマーク5[紫]は書き出し対象外となります。

7.5. 他のアプリケーションで開く

選択コマのファイルを、あらかじめアプリケーションを登録したアプリケーションで開きます。

選択コマの画像情報の書き出しも同時におこなえます。

[ファイル]-[他のアプリケーションで開く]-[アプリケーションの登録]メニューを選択すると、「アプリケーションの登録」ダイアログが開きます。

7	プリケーションの登録			×
	登録されたアプリケーション			
	名前	場所	画像情報の書き出し	
	GNU Image Manipulation Prog SILKYPIX Developer Studio Pr	C:¥Program Files¥GIMP 2¥bin¥gimp C:¥Program Files¥ISL¥SILKYPIX De	XMP形式 SILKYPIX バージョン10形式	
	<		>	
		登録	編集 解除	
			OK キャンセル	

[登録]ボタンをクリックして、アプリケーションを登録します。

	アプリケーションの登録	
	転送先	
≻∣	🖾 GNU Image Manipulation Program	~
	名前	
≻∣	GNU Image Manipulation Program	
	C:¥Program Files¥GIMP 2¥bin¥gimp-2.10.exe	
	 画像情報の書き出し	
≻∣	XMP形式で書き出す	~
		711
	0K +7/0	JV.

	名称	概要	
1	転送先	リストからアプリケーションを選択します。	
		リストにアプリケーションが表示されていない場合は、「その他」を選択してアプリケー	
		ション(.exe ファイル)を直接指定します。	
2	名前	アプリケーションの名称を設定します。	
3	場所	選択したアプリケーションのパス名が表示されます。	
4	画像情報の書き出し	アプリケーション起動時に選択コマの画像情報の書き出しをおこなうかどうかを選択で	
		きます。書き出しをおこなう場合、書き出し形式を選択します。	
		※ SILKYPIX 現像パラメータファイル形式を選択した際、書き出し形式のバージョ	
		ンは「画像情報の書き出し設定」で設定したバージョンよりも本設定が優先され	
		ます。	

登録したアプリケーションは、[ファイル]-[他のアプリケーションで開く]メニューやプレビュー・サムネイル上で右クリックして表示されるコンテキス トメニュー上の[他のアプリケーションで開く]メニュー内に追加されます。 メニューからアプリケーションを選択することで、選択コマのファイルを指定したアプリケーションで開きます。

【SILKYPIX の起動に関する制限】

Photo ExpressViewerと弊社 RAW 現像ソフト「SILKYPIX」シリーズは、同時起動はおこなえません。 本機能で SILKYPIX シリーズを登録して起動する際、Photo ExpressViewerを終了した後 SILKYPIX を起動します。

31

8. その他便利な機能

8.1. IPTC 情報テイスト

画像のプロパティ中で設定した IPTC 情報をプリセットとして登録し、他のコマに適用します。 Photo ExpressViewer では、プリセットのことを「テイスト」と呼びます。

IPTC 情報で編集したい項目をダブルクリックすると、編集画面が表示されます。 項目の内容を入力し、[OK]をクリックします。

項目が入力されると、[IPTC 情報]の項目名の下のドロップダウンが「マニュアル指 定」の表示に切り替わります。

右側の「+」アイコンをクリックすると、「テイストの登録」ダイアログが表示されます。

登録するテイスト名を入力し[OK]を押すと、IPTC 情報のドロップダウンリストに登録したテイストが表示されます。

他のコマに移動してドロップダウンリストから登録したテイストを選択し、登録時の IPTC 情報を適用します。

複数のコマを選択して、一度に同じ IPTC 情報を適用することも可能です。

登録したテイストは、[オプション]-[IPTC 情報テイストの編集]メニューを選択して開くダイアログ上で名称の変更や削除などをおこなえます。

※ レーティングも IPTC 情報としてテイストの登録対象となります。テイストの登録および適用時にはご注意下さい。



	THE CINER		
マニュアル指定		*	¢
キャプション	京都の紅葉		I
記入者			•
タイトル			•
油紋生			

テイストを登録します。名前をつけて[OK]ボタンを押してくだ

 \times

テイストの登録

説明

さい.

京都の紅葉		上へ移動
		下へ移動
		非表示にする
		削除
		名前の変更
	ОК	キャンセル

	IPTC情報	
未編集		🔶 🔿
■未編集		
京都の紅葉		
91111		
連絡先		

8.2. コントロール配置の登録・復元

メインウィンドウや各コントロールの配置を登録しておき、配置データを選択することで復元します。

【コントロール配置の登録】

登録したい配置の状態で[オプション]-[コントロール配置の登録]メニューを選択します。 「コントロール配置の登録」ダイアログが表示され、日時がリストに登録されますので、必要に応じて名称を変更します。

【コントロール配置の復元】

[オプション]-[コントロール配置の復元]メニューを選択します。 「コントロール配置の復元」ダイアログが表示されますので、復元したい項目を選択して[OK]をクリックします。

「配置のプレビュー」にチェックが入っている際、リストの項目を選択すると、登録された配置状態を再現して確認することができます。

8.3. 画面の配置を初期状態に戻す

各コントロールを意図せず消してしまった場合など、コントロール類の配置を初期状態に戻したい場合、メニューの[オプション]-[コントロール表示状態の初期化]を選択します。

8.4. コントロールをたたむ・広げる

コントロール上部にある 🚺 や 📡 のアイコンをクリックすることで、メインウィンドウの左側、右側に配置されたコントロールの表示/非表示 を切り替えます。

画面領域が狭い環境などでは、一時的にプレビュー・サムネイル広げることにより、画面を有効に使用できます。



9. 設定

Photo ExpressViewerの各種設定をおこないます。

9.1. 表示設定

プレビュー表示やサムネイル表示に関する設定をおこないます。

	表示設定	×
1	カラーマネージメント 「クカラーマネージメントを有効にする モニタプロファイル (Windows規定値) sRGB IEC61966-2.1	
2	サムネイル表示 コマの横幅 130 ਦ ビクセル	
4	 □サムネイルに撮影情報を表示する プレビュー表示 プレビュー表示品質 速度優先 (表示解像度を制限する) ~ 	
6 7	 等倍表示時のプレビュー表示品質 画質優先(最大解像度で表示) ~ フォルダを開いた時のプレビュー表示モードの動作 プレビュー表示モードのままにする ~ 	
9	 8 背景色 グレー(初期設定) ~ ✓ フィット表示/全体表示時に余白を設ける OK キャンセル 	

	名称	概要
1	カラーマネージメント	選択されたモニタプロファイルでプレビュー・サムネイルのカラーマネージメントをおこなうか どうかを設定します。ドロップダウンリストには、OS に登録されているモニタプロファイルが 表示されます。
2	コマの横幅	サムネイルのコマの横幅をピクセル単位で指定します。
3	サムネイルにマーク・レー ティングを表示する	サムネイル上にマーク・レーティングを表示するかどうかを設定します。
4	サムネイルに画像情報 を表示する	サムネイル上に画像情報を表示するかどうかを設定します。 オフの場合、ファイル名のみが表示されます。
5	プレビュー表示品質	プレビューに表示する画像の品質(画素サイズ)を設定します。 ■ 画質優先 (最大解像度で表示) JPEG/TIFF や RAW データが持つプレビュー画像をそのままの画素サイズで読

6	卒位ま二時のプレビュ	 み込み表示します。 速度優先(表示解像度を制限する) JPEG/TIFFや RAW データが持つプレビュー画像を長辺が 1280 ピクセル以下となるように制限をかけて読み込み表示します。 初期値は「速度優先」に設定されています。「画質優先」を選択すると、モニタの表示解像度が高い環境では鮮明な画像を表示できますが、画像の読み込み速度が低下します。
6	→ 一表示品質	 「回質優先(最大解像度で表示) 「JPEG/TIFF や RAW データが持つプレビュー画像をそのままの画素サイズで読み込み等倍表示します。 速度優先(表示解像度を制限する) JPEG/TIFF や RAW データが持つプレビュー画像を長辺が 1280 ピクセル以下となるように制限をかけて読み込み等倍表示します。 初期値は「画質優先」に設定されています。スペックがあまり高くない PC の場合、「速度優先」を選択すると等倍表示時の動作が軽くなります。
7	フォルダを開いたときのプレ ビュー表示モードの動作	プレビュー表示状態でフォルダを開いた際の動作を設定します。
8	背景色	プレビュー表示の背景色を選択します。
9	フィット表示/全体表示 時に余白を設ける	フィット表示や全体表示時に、プレビュー表示の周りに余白を設けるかどうかを設定します。

9.2. 機能設定

Photo ExpressViewer 全般の機能や操作に関する設定をおこないます。

	機能設定	×
	機能	
1	JPEG/TIFF/DNG 回転時の回転情報 ・ 「「標面ファイルに保存 (原画ファイルを変更しません) ・ タグ情報を変更 (原画ファイルを変更します)	
4	✓リムーバブルディスク挿入時に「メディアからの取り込み」ダイアログを表示する	
3		
	図 起動時に最後に開いたフォルダを開く 5	
	操作	
6	□ ファイル削除の確認を行わない	
7	☑マウスホイール操作によるコントロール上でのパラメータ変更を有効にする	
	パフォーマンス	
0	キャッシュの設定	
8	標準 ~	
9	□ テンポラリ・フォルダを指定する 参照	
	OK キャンセル	

	名称	概要
1	JPEG/TIFF/DNG 回 転時の回転情報	JPEG/TIFF/DNGを90度回転させた際、原画ファイルの回転情報を書き換えるか どうかを選択します。
2	リムーバブルディスク挿入時に 「メディアからの取り込み」ダイ アログを表示する	Photo ExpressViewer が起動している状態で SD カード等のメディアを挿入した際、「メディアからの取り込み」ダイアログを表示するかどうかを設定します。
3	ツールチップを表示する	アイコンやボタン等にマウスカーソルを合わせた際、ツールチップを表示するかどうかを設 定します。
4	同名ファイルをグループ として扱う	拡張子が異なる同名ファイルをグループとして扱うかどうかを切り替えます。 同名の JPEGと RAW を並べて表示したい場合はオフにします。
5	起動時に最後に開い たフォルダを開く	Photo ExpressViewer 起動時に、前回開いていたフォルダを開きます。
6	ファイル削除の確認を行 わない	ファイルの削除をおこなう際、確認のダイアログを表示するかどうかを設定します。
7	マウスホイール操作によるコン トロール上でのパラメータ変 更を有効にする	コントロール上のスライダーやドロップダウンリスト等でマウスホイール操作をおこなった際、変更操作をおこなうかどうかを設定します。

8	キャッシュの設定	メモリ上に作成するキャッシュデータの程度を設定します。
		搭載メモリが少ない場合は「限定」、搭載メモリやテンポラリ・フォルダの空き容量が十
		分ある場合は「最大」を指定するとパフォーマンスが向上することがあります。
9	テンポラリ・フォルダを指	Photo ExpressViewer が作成する一時ファイルを格納するフォルダを指定できま
	定する	す。初期値は OS 標準のテンポラリ・フォルダに作成されます。
		※Photo ExpressViewer の次回起動時に有効となります

9.3. キー設定

Photo ExpressViewerに搭載された機能に対するショートカットキーの設定をおこないます。

キー設定			Х
Photo ExpressViewerの機能にキーを割り当てて、キ 表示対象 すべての機能 〜	 ボードで機能の呼び出しがおこなえるように設定します。 2 		
機能 ファイルを開く 閉じる 選択コマを閉じる メディアからの取り込み	現在のキー Ctrl+O	変更後のキー Ctrl+O	^
削除予約コマの削除(ごみ箱に移動) 削除予約コマの削除(完全に削除) コピー予約コマのごとー 移動予約コマの移動 選択コマの削除(ごみ箱に移動) 選択コマの削除(完全に削除) 選択コマのコピー	Delete Shift+Delete	Delete Shift+Delete	~
キー単独 Ctrl + Shift	+ Ctrl + Shift + 3		
F1 F2 F3 F4 F5 1 2 3 4 5 6 Q W E R T SHIFT A S D F G CTRL Z X C V	F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12 7 8 9 0 0 0 Y U I O P H J K L 0 B N M I I	HOME PUP - DEL END PDN + 7 8 9 4 5 6 1 2 3 • • • 0	
割り当て可能	近済 📃 変更 🚺	予約キー 割り当て不可 4 全て初期化 OK キャンセル	,

	名称	概要
1	表示対象	リストに表示する機能の対象を選択します。
2	リスト	ショートカットキーが割り当て可能な機能と、現在設定されているキー、変更後のキー を表示します。 リストの項目を右クリックすると、既に割り当てられているキーを解除できます。 ※ 予約キーとして設定されているキーの解除・変更はおこなえません。
3	ソフトウェアキーボード	設定されているキーの状態を表示します。 また、キーのボタンを押すことで、リストで選択された機能にキーを割り当てることができ ます。
4	全て初期化	キーの割り当てを Photo ExpressViewer の初期値の状態にします。

9.4. 画像情報の書き出し設定

画像情報の書き出しに関する設定をおこないます。

	画像情報の書き出し設定			×
	XMP			
(1)	☑ 回転情報を出力する			
2	□ ユーザーマークをラベルとして出	力する		
4		出力ラベル名	優先順位	
	ユーザーマーク1[青]	ブルー	1 ~	
	ユーザーマーク2[緑]	グリーン	2 ~	
	ユーザーマーク3[赤]	Lyk	3 ~	
	ユーザーマーク4[黄]	1ID-	4 ~	
	ユーザーマーク5[紫]	パープル	5 ~	
	複数のユーザーマークが設定さ	れている場合、優先順位が高い一色	のみがラベルとして出力されます。	
	SILKYPIX現像パラメータファイルー			
	出力ファイル			
3	SILKYPIX バージョン10形式	~		
	揭作			
4	□ 書き出し時に確認をおこなう			
5	ファイルが存在する場合、上書	きの確認をおこなう		
			OK キャンセル	

	名称	概要
1	回転情報を出力する	XMP 形式での書き出し時、回転情報を含めるかどうかを設定します。
2	ユーザーマークをラベル	XMP 形式での書き出し時、ラベル情報を出力するかどうかを設定します。
	として出力する	出力する場合、各ユーザーマークに対する出力ラベル名と優先順位の設定をおこない
		ます。
3	出力ファイル	SILKYPIX 現像パラメータファイル形式での書き出し時、対応する SILKYPIX のバ
		ージョンを設定します。
4	書き出し時に確認をおこなう	画像情報の書き出し時、書き出しをおこなうかどうかの確認をおこないます。
5	ファイルが存在する場	すでに出力対象のファイルが存在する際、上書き保存をおこなうかどうかの確認をおこ
	合、上書きの確認をお	ないます。
	こなう	

9.5. ツールバーのカスタマイズ

ツールバー左側のアイコンの並び順や表示するアイコンを変更します。 「ツールバーのカスタマイズ」ダイアログで設定を変更すると、リアルタイムにアイコンの並び順が変化します。 表示状態を確認しながら設定がおこなえます。

在の項目:			利用可能な項目:	
ゲイアからの取り込み (区切り線)	^	<- 追加		
iのコマへ				
マのコマへ		削除 ->		
名ファイルをグループとして扱う				
- (区切り線)		FA		
観光コマのコピー		TV		
訳コマの移動		Τ.		
- (区切り線)		LV		
ムネイル表示				
ンビイニンヨン衣示(上下衣示) ンジォーションキテ(ナナキテ)		マモリングのます。	1	
ノビネーションない(左伯衣小) リビュー表示		と切り級の挿入		
レビュー(左右表示)			1	
ルチプレビュー(上下表示)		10期1回に戻9		
画面プレビュー				
(区切り線)	~			

9.6. スキンの選択

アイコン・文字の大きさや、コントロールの色を変更します。

4k モニタなどの高解像度モニタをご使用の場合、「高解像度モニタ向け」のスキンを選択すると、アイコン・文字の大きさを最適な大きさで表示することができます。

「スキンの選択」ダイアログで設定を変更した後、Photo ExpressViewer を再起動 することで設定が反映されます。

スキンの選択 ×
 ◇ Photo ExpressViewer #7/31 ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) 画像(I) オプション(Q ・ 一 「」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
C:¥image v 💺 C
III デスクトップ へ ☆- ▲ OneDrive ☆- 巻 isl 章 PC
לאיד לאיד איד איד איד איד איד איד איד איד איד
※スキンの選択は再起動後に反映されます。
OK キャンセル

10.1. 製品についてのお問い合わせ

Photo ExpressViewerの使用方法など、ご不明な点をお問い合わせいただけます。 なお、PCの扱い方や OS などの扱い方、デジタルカメラ、他社ソフトウェアの操作方法など弊社製品に直接関係のないお問い合わせには お答えできません。他社製品についてのお問い合わせにつきましては、各社サポート窓口へお問い合わせ願います。 また、弊社で動作保証している機器以外での不具合につきましては、サポートいたしかねる場合がございます。

10.1.1. お問い合わせ方法

■ インターネットを利用したお問い合わせ

弊社ホームページ上にて専用のサポートフォームをご用意いたしております。 弊社サポートサイトより、<u>サポートフォーム</u>をご利用ください。

※ サポートフォームをご利用いただく際には、ご登録いただいておりますライセンスのシリアル番号入力が必須となっておりますので、 あらかじめシリアル番号をご確認ください。

■ メールによるお問い合わせ

下記にご案内いたします【お問い合わせ事項のご案内】をご記載の上、弊社サポートセンターへメールにてお問い合わせください。 メールアドレス: <u>support@isl.co.jp</u>

【お問い合わせ事項のご案内】

お問い合わせ時には以下の項目をお伝えください。

- 1. お客様のお名前
- 2. 返信先メールアドレス

メールによるお問い合わせの際には、PC または携帯電話のいずれのメールでもご利用いただけます。 しかしながら、無料メールや携帯電話のメールをご利用の際には、文字数などの設定により弊社からの返信メールがお届けできな い場合がございます。ご注意ください。

- 3. お問い合わせ製品名: Photo ExpressViewer
- 4. お問い合わせ製品のシリアル番号
- 5. Photo ExpressViewerのバージョン (例: Ver.1.0.1.0)
- 6. OS およびバージョン

Windows 10 の場合、バージョンおよび OS ビルド番号を記載してください。

(例: Windows 10 バージョン 20H2、OS ビルド番号 19042.685)

- 7. PC(メーカー及びモデル名)
- 8. プロセッサの型番
- 9. プロセッサの速さ(GHz)
- 10. 搭載メモリ量(GB)
- 11. ドライブの種類(HDD、SSD など)
- 12. ドライブの空き容量(GB)
- 13. デジタルカメラ(メーカー及びモデル名)

10.1.2. シリアル番号の確認方法

お問い合わせをいただく際は、お客様のシリアル番号をあわせてご連絡ください。

なお、ご利用のシリアル番号の確認につきましては、[ヘルプ]-[バージョン情報]メニューを選択して表示されたダイアログよりご確認ください。

11.使用許諾契約書

【重要】

以下のライセンス契約書を注意してお読みください。

本使用許諾契約書(以下「本契約書」といいます)は、下記に示された市川ソフトラボラトリー ソフトウェア製品(以下「本ソフトウェ ア製品」または「本ソフトウェア」といいます)に関してお客様(個人または法人のいずれであるかを問いません)と株式会社市川ソフトラ ボラトリー(以下当社といいます)との間に締結される法的な契約書です。

本ソフトウェア製品の CD-ROM/DVD-ROM パッケージを開封した時点またはインストールもしくは使用することによって、お客様は本 契約書の条項に拘束されることに承諾されたものとします。

本契約書の条項に同意されない場合、当社はお客様に本ソフトウェア製品のインストールまたは使用の許諾はできません。また本契約で特に認められていないすべての権利は当社に留保します。

本ソフトウェア製品は、著作権法および著作権に関する条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護 されています。

本ソフトウェア製品は、許諾されるもので、販売されるものではありません。

【ソフトウェア製品ライセンス】

製品名 : Photo ExpressViewer

- 1. 定義
 - (1) 本ソフトウェア製品には、コンピュータソフトウェアおよびそれに関連した媒体、ならびに印刷物(マニュアルなどの文書)、「オンラ イン」または電子文書を含みます。
 - (2) 本ソフトウェア製品は、お客様が対価をお支払いいただくことで使用を許諾される機能を有します。
- 2. 使用条件
 - (1) 当社は、お客様が本ソフトウェア製品のご使用にあたり、本契約書に基づいて使用を許諾するものとします。
 - (2) 本ソフトウェア製品をご利用いただく場合には、当社または正規代理店において、所定の方法により対価をお支払いいただくことにより、1つのライセンスでお客様が所有する最大2台までのコンピュータで使用することを許諾するものとします。 また、本ソフトウェア製品はバックアップを目的として保有するライセンス数のコピー保持することができます。
 - (3) 本ソフトウェア製品をご利用いただく場合、対価をお支払いいただいたお客様に対し、当社より使用を許諾するためのライセンス (シリアルナンバーとプロダクト・キー)を発行します。お客様は、発行されたプロダクト・キーを登録することにより、本ソフトウェア 製品をご利用いただくことが可能となります。ライセンスの購入方法等に関する情報は当社 Web サイト (https://shop.isl.co.jp/)をご参照ください。なお、プロダクト・キーの登録が完了した機器上でのみ、使用が許諾されたも のとしてご使用になれます。本ソフトウェア製品を動作させるための詳しい方法は、マニュアルをご参照ください。
 - (4) お客様に試用していただく目的で、当社が定める一定の期間においてお客様が対価を支払うことなく、本ソフトウェア製品の全ての機能を使用することができます。当社が定める一定の期間を超えて本ソフトウェア製品をご利用いただくことはできません。
- 3. インターネットによる通信

本ソフトウェアをインストールしたコンピュータがインターネットに接続されている場合、お客様へソフトウェアバージョン更新情報の提供や 当社製品の改善のために、インターネットを経由して当社と通信する場合があります。

お客様は、本ソフトウェアをインストールすることによって、本ソフトウェアに関する情報及びお客様が本ソフトウェアをインストールされてい

るコンピュータのシステムに関する情報を、当社が収集、保有、及び利用する場合があることに同意したものとします。 なお、お客様のコンピュータから収集した情報は個人を特定するものではなく、お客様に有益な商品・サービスに関する情報提供及び 当社製品の改善以外の目的で使用することはありません。

4. 禁止事項

(1) 著作権の表示

お客様は、本ソフトウェア製品の全てのコピーに添付されている著作権表示を取り除いたり変更することはできません。

(2) プロダクト・キー頒布の禁止

お客様は、本ソフトウェア製品にかかるプロダクト・キーを第三者に頒布することはできません。

- (3) 第三者のプロダクト・キーを用いた利用の禁止 お客様は、当社より別段の定めをもってその利用の許可を受けた場合を除き、お客様ご本人に対して発行されたプロダクト・キー以外のプロダクト・キーを用いて、本ソフトウェア製品を利用することはできません。
- (4) 本ソフトウェア製品の部分的頒布の禁止 お客様は、本ソフトウェア製品の一部を部分的に頒布することはできません。
- (5) 本ソフトウェア製品の全部または一部の改変の禁止 お客様は、本ソフトウェア製品の全部または一部を改変することはできません。
- (6) 譲渡およびレンタル・リースの禁止 お客様は、本ソフトウェア製品および本ソフトウェア製品のコピーまたは改変したものならびに本ソフトウェア製品にかかるプロダクト・キーを、譲渡およびレンタル・リースすることはできません。
- (7) リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルの禁止 お客様は、本ソフトウェア製品をリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。
- (8) 法律の遵守 お客様は、本ソフトウェア製品の使用に関して、適用される法律を遵守しなければなりません。
- 5. 契約の有効期間
 - (1) 本契約の有効期間は、本契約成立のときから、お客様が本ソフトウェア製品の使用を中止する時までとします。
 - (2) お客様が本契約書の条項および条件に違反した場合、当社は、他の権利を害することなく本契約を終了することができます。 この場合、お客様は本ソフトウェア製品の複製物およびその構成部分を全て破棄しなければなりません。
- 6. 当社の責任

当社は、本契約の当事者になったお客様で、かつ所定の対価をお支払いいただき、本ソフトウェア製品の使用許諾を得たお客様ご本 人に対して、本ソフトウェア製品のご利用に限定してサポートサービス(以下「サポートサービス」といいます)を提供します。サポートサ ービスについては、ユーザーマニュアル、オンラインドキュメント、または当社提供の印刷物などに記載されている当社のポリシーおよびプロ グラムに従ってご利用になれます。サポートサービスの一部としてお客様に提供された追加のソフトウェアコードは、本ソフトウェア製品の 一部とみなされ、本契約書の条件および条項が適用されます。サポートサービスの一部としてお客様から当社に提供される技術情報 に関して、当社は、このような情報を製品サポートおよび開発を含む商業目的に使用することがありますが、お客様を特定することとな るような方法で技術情報を利用しないものとします。

- 7. 責任および保証の制限
 - (1) お客様が意図する結果を得るためのソフトウェアの選択、導入およびその使用ならびにその使用結果に基づいて発生した全ての 損害につきましては、お客様の責任とさせていただきます。当社は一切の責任を負いません。
 - (2) 当社およびその供給者は、本ソフトウェア製品およびドキュメントの使用または使用不能から生じる一切の損害(逸失利益、

事業の中断、事業情報の喪失またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定しません)に関して一切責任を負いません。たとえ、当社がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

8. 著作権

本ソフトウェア製品および本ソフトウェア製品の複製物についての権限および著作権は、当社が有するものです。本ソフトウェア製品を 使ってアクセスできるコンテンツについての権限および無体財産権はコンテンツの所有者の所有物で、適用される著作権法および著作 権の条約の規定によって保護されています。本契約書は、お客様にコンテンツの使用権を許諾するものではありません。本契約書に明 白に与えられていない権利はすべて当社によって留保されます。

9. 輸出規制

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ずに、本製品の全部または一部を、直接または間接に輸出する ことはできません。

10. 第三者のソフトウェア

当社は、本ソフトウェア製品とともに、第三者のソフトウェア製品(以下「第三者ソフトウェア製品」といいます)を提供する場合があります。本ソフトウェア製品付随のマニュアルに、別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載がなされている場合には、本契約の規定にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、当社によるサポートおよび保証等については、以下の規定が適用されるものとします。

(1) サポートサービス

第三者ソフトウェア製品およびそれに関するドキュメントは、何等保証もない現状有姿のままで提供されるものであり、当社は第 三者ソフトウェア製品に関しての操作方法、瑕疵その他に関してサポートを提供するものではありません。

(2) 無保証

第三者ソフトウェア製品およびそれに関するドキュメントは、何等保証もない現状有姿のままで提供されるものであり、当社は商品性、特定目的に対する適合性、および権利侵害の不存在その他について明示であると黙示であるとを問わず、一切保証をするものではありません。第三者ソフトウェア製品およびドキュメントの使用若しくは機能から生じる全ての危険は、お客様が負担しなければなりません。

(3) 免責

当社は、いかなる場合においても、第三者ソフトウェア製品およびそれに関するドキュメントの使用または使用不能から生じる一切の損害(逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失またはその他の金銭的損失を含みますがこれらに限定しません)に関して一切責任を負いません。たとえ、当社がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

- 11. その他
 - (1) 本契約のいずれかの条項が無効または履行不可能となった場合でも、本契約の他の条項の有効性、権利行使可能性に影響を及ぼさず本契約の他の条項は全て完全な効力を有します。
 - (2) 本ソフトウェア使用許諾契約は、日本国の法律に基づいて解釈されるものとします。本ソフトウェア使用許諾契約に関する一切の紛争の管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

本契約書に関して不明な点がございましたら、株式会社市川ソフトラボラトリーまで書面にてご連絡願います。

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2 丁目 7 番 2 号 ステージビルディング 13 階 株式会社 市川ソフトラボラトリー